



# モロッコ国 ワルザザトにおける集光型太陽光発電システム(CPV)普及促進事業 住友電気工業株式会社

## モロッコ王国の開発ニーズ

- 社会の不安定要因になっている高い若年層失業率や地域的・社会的格差の抑制や是正が必要
- 電力自給率の低さ、及び化石燃料への依存度の高さを解消するために再生可能エネルギーの安定的な供給が必要

## 普及促進事業の内容

- CPV(集光型太陽光発電システム)・SiPV(シリコン太陽電池)を設置し、両システムの比較発電データを取得。CPVの優位性を政府関係者に示す。
- 砂漠地域特有の防塵堆積に備えて、防汚機能の実証や、あらゆる清掃方法・その頻度の実証実験を行い、最適なオペレーションとメンテナンスを構築する。

## 提案企業の技術・製品



### 製品・技術名

集光型太陽光発電システム(CPV)

### 事業のポイント

- ・CPVの性能優位性を示すと共に、砂漠地域の太陽光発電で大きな懸念事項である砂汚れによる発電ロスを低減する。
- ・JICAモロッコ事務所との緊密な連携による実施機関へのアプローチ

## モロッコ王国側に期待される成果

- モロッコ政府の方針である、太陽光発電の促進に寄与
- 現地工事会社やサプライヤーを活用したCPV設置によるモロッコ地域の産業・雇用の創出

## 日本企業側に期待される成果

### 現状

- モロッコの太陽光エネルギー分野において、日本は2010年に協力協定を結んだが、案件の具体化には至っていなかった。

### 今後

- モロッコ持続可能エネルギー庁と締結した1MWのCPVプラントの共同建設・運用実証契約を弾みとして、更なるCPV事業を拡大する。
- 本事業で得られたデータや技術・知見を基に、他国に横展開する。